

【平成27年度 アドバイザー派遣事業実施レポート】

『校種、学年に応じた表現運動・ダンスの作品づくり』

鳥取県学校体育研究連合会・女子体育研究部

1. 期 日 平成27年7月28日（火）
2. 会 場 上灘公民館
3. 講 師 筑波大学 体育学群 准教授 寺山 由美 先生
4. 参加人数
5. 日 程 10:20～11:00 講義「ダンス指導のこれから」
11:00～12:00 実技「初めてのダンス学習への指導」
13:30～15:00 実技「ダンス学習の次の一歩に向けて」
15:00～16:00 実技「校種、学年に応じた作品づくり」

6. 実施レポート

(1) 講義「ダンス指導のこれから」

- ・指導経験の少ない先生方へ、ダンス指導をどのように指導するのかを、具体的な例を提示いただいた。「与える」から「引き出す」授業展開、振付を教えない指導等学んだ。



(2) 実技

①「初めてのダンス学習への指導」

- ・小学校から高等学校、特別支援と幅広い校種からの参加であったので、簡単に取り入れることのできるリズム運動から行った。

②「ダンス学習の次の一歩に向けて」

- ・授業に即活用できる内容を短い中ではあったが、たくさん学習した。「ミラー&ひねくれミラー」、バトル、主役と脇役、ペーパームーブメントを行った。ペーパームーブメントでは、紙を利用し、動いていると自然に空間を大きく使うことができていた。『動きを表現に』という指導方法。

③「校種、学年に応じた作品作り」

- ・今までの実技で行った動きや全員で行う動きを曲にのせ、ひとつの作品とした。参加者の中でも年齢の幅はあったが、誰もが楽しく笑顔で行える作品となった。動きもとても簡単なものや繰り返し行うことでダンスに対する苦手意識等がなくなるのではないかと感じた。

【実技①】



【実技②】



【実技③】



(3) 最後に

- ・寺山准教授のダンスに対する情熱、指導方法、声かけ等とても学ぶことができた。とても有意義な研修となった。